

印南町 土砂災害危険箇所マップ



●危険箇所に注意!

河川

洪水時は水かさが増し、堤防が壊れたり堤防から水が溢れる恐れもあり危険です。河川の周辺には近寄らないようにしましょう。

橋

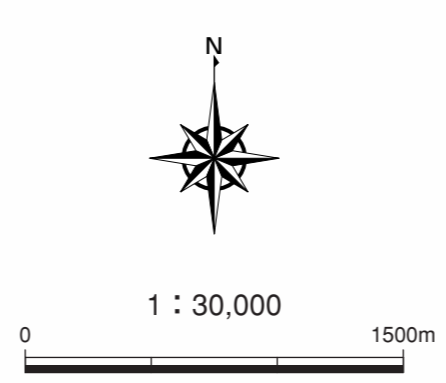
上流から流木などが流れてきたりするので、橋は大変危険です。橋を渡って避避することはやめましょう。

ため池

洪水時は水かさが増し危険です。ため池の周辺には近寄らないようにしましょう。

このマップについて

この地図は、和歌山県が調査公表している「土砂災害危険箇所マップ」を参考に、土砂災害の危険性があるとして定められている条件に適合する地域を抽出したものであり、実際の土砂災害の発生や被害の範囲を示すものではありません。また、表示されている危険箇所以外の場所でも、土砂災害が発生する可能性があります。なお、この地図における危険箇所の範囲は、法律で行為等が規制されるものではありません。



●いざという時の連絡先

項目	施設名称	住所	電話番号
事故	御坊警察署	和歌山県御坊市湯川町財部237-1	23-0110
火災・緊急	日高広域消防事務組合消防本部・消防署	和歌山県日高町萩原930-1	63-1119
行政機関	印南町役場	和歌山県日高郡印南町大字印南2252-1	42-0120
	日高振興局	和歌山県御坊市湯川町財部651	22-3111

●災害伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの大災害発生時は、電話が繋がりにくい状況が1日～数日間続くことがあります。このような場合は、「災害伝言ダイヤル」が開通されます。これは「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

録音する場合 **171** → **1** → 自分の家の電話番号 (市外局番から) → **録音**

再生する場合 **171** → **2** → 連絡をとりたい方の電話番号 (市外局番から) → **再生**

●洪水に備えて

洪水の発生する仕組み

洪水の発生する仕組みを理解して、どのような洪水が発生しやすいか確認しておきましょう。

外水はん濫

川の堤防が壊れたり堤防から水が溢れて発生

内水はん濫

川の堤防が壊れたり堤防から水が溢れて発生

●大雨のときは土砂災害に注意!

土砂災害

大雨警報が発せられた後、さらに大雨が続くと、土砂流などの土砂災害のおそれが高まります。

土砂災害警戒情報とは
大雨が降り、周囲が危険な状態になる前に和歌山県と気象台から共同で土砂災害警戒情報というものが発表されます。これは、テレビやラジオでも報道されますが、和歌山県防災課のホームページでも閲覧できます。土砂災害警戒情報発表時は、雨の降り方に十分注意し、早めの避難を心がけましょう。

■雨量情報・土砂災害警戒情報
<http://www.wakayamasabo.jp/new/>

■わかやま土砂災害マップ
<http://sabomapp.pret.wakayama.lg.jp/>

■和歌山県HP 河川雨量情報(河川水位)
<http://www.wakayamakasen.jp/sui/400/400.html>

■気象情報・避難情報など
FMマザーシップ 88.9MHz / NHKラジオ 66.6MHz

土砂災害の知識

土砂災害のしくみを知りふれに用心しましょう。

【がけ崩れ】

急な斜面が大雨等によって緩み突然崩れ落ちる現象です。

【土石流】

谷や渓流から、土砂や石、木を含んだ濁流が激しい勢いで押し流される現象です。

【地すべり】

比較的広い範囲にわたって雨を含んだ土壌が、ゆるりと動き出す現象です。

土砂災害の心得

地域によって異なりますが、1時間に20mm以上、または降り始めてから100mm以上の雨が続いたら土砂災害の危険が高いとされています。また、雨が上がった後で災害が起こることもありますので十分な警戒が必要です。

雨が降り続き次のような前兆現象が現れた時は要注意

■がけ崩れの前兆現象

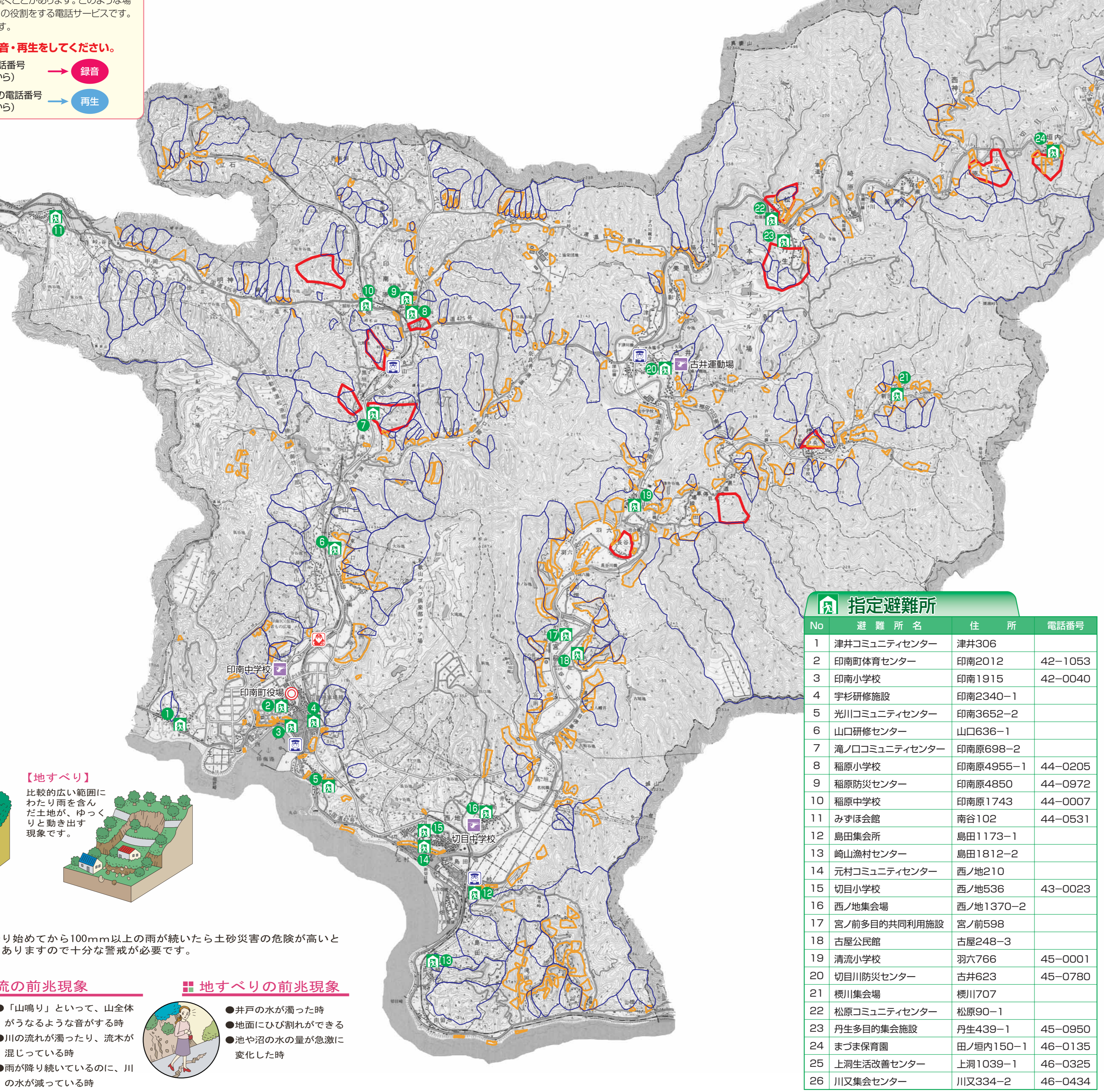
- がけから小石がバラバラと落ちてくるようになった時
- がけから水が湧き出てきた時
- がけに割れ目が見えた時

■土石流の前兆現象

- 「山鳴り」といって、山全体がうなるような音がする時
- 川の流が濁ったり、流木が混じっている時
- 雨が降り続けているのに、川の水が減っている時

■地すべりの前兆現象

- 井戸の水が濁った時
- 地面にひび割れができる
- 池や沼の水の量が急激に変化した時



指定避難所

No	避難所名	住所	電話番号
1	津井コミュニティセンター	津井306	
2	印南町体育センター	印南2012	42-1053
3	印南小学校	印南1915	42-0040
4	宇杉研修施設	印南2340-1	
5	光川コミュニティセンター	印南3652-2	
6	山口研修センター	山口636-1	
7	滝ノロコミュニティセンター	印南原698-2	
8	福原小学校	印南原4955-1	44-0205
9	福原防災センター	印南原4850	44-0972
10	福原中学校	印南原1743	44-0007
11	みずほ会館	南谷102	44-0531
12	島田集会所	島田1173-1	
13	嶋山漁村センター	嶋山1812-2	
14	元村コミュニティセンター	西ノ地210	
15	切目小学校	西ノ地536	43-0023
16	西ノ地集会所	西ノ地1370-2	
17	宮ノ前多目的共同利用施設	宮ノ前598	
18	古屋公民館	古屋248-3	
19	清流小学校	羽六766	45-0001
20	切目川防災センター	古井623	45-0780
21	櫻川集会所	櫻川707	
22	松原コミュニティセンター	松原90-1	
23	丹生多目的集会所	丹生439-1	45-0950
24	まづま保育園	垣ノ内150-1	46-0135
25	上洞生活改善センター	上洞1039-1	46-0325
26	川又集会所	川又334-2	46-0434

●気象情報に注意しましょう!

雨の強さと降り方(1時間降雨量)

猛烈な雨
80mm以上

息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。大雨による大きな災害が起こる恐れがあります。厳重な注意が必要です。

非常に激しい雨
50mm以上80mm未満

滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は全く役に立ちません。水しぶきが視界が悪くなります。多くの災害が発生するおそれがあります。

激しい雨
30mm以上50mm未満

バケツをひっくり返したように降り、道路が川のようになります。がけ崩れ等が起こりやすくなり、避難の準備が必要となります。

強い雨
20mm以上30mm未満

どしゃ降り。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小さな川なら水があふれ出したり、がけ崩れの心配もあります。

やや強い雨
10mm以上20mm未満

ザーザーと降り、雨の音で話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうら注意が必要です。

和歌山地方気象台が発する大雨・洪水に関する注意報と警報
「大雨(洪水)注意報」は災害が起こるおそれのある場合に発表され、「大雨(洪水)警報」は重大な災害が起こるおそれのある場合に発表されます。

●いざというときのために!

みんなで、前もってなにかができるかよく話し合っておきましょう。そして、地域のことをよく知っておくことが大切です。

避難時の心得

いざというとき、あわてず、冷静に
日頃から避難に必要なものを用意しておくとともに、避難の手順について家族で打ち合わせをしておく、いざというときあわてずに避難ができます。また、そのときは、ラジオや広報車などからの情報を確認し、1人で行動せず、必ずグループで行動するようにしましょう。

非常用品を備えておこう!

災害に備える非常用品は、緊急避難のときに持つて逃げる「非常持出品」と災害後の生活をささえる「非常備蓄品」に分けて備えましょう。

非常持出品
非常持出品は、水、ビスケット、ラジオ、懐中電灯、予備の電池などを用意しておきましょう。

非常備蓄品
非常備蓄品は、最低3日分用意しておきましょう。1年に1回、定期的な入れかえや補充も大切です。

災害時要援護者のために

地域で協力しあいながら支援していきましょう

車イスをご利用の方のために

- ・階段は2人以上で、上がりは前向き、下りは後ろ向きで移動
- ・介護者一人のときは、ヒモでおぶって避難

耳が不自由な方のために

- ・口をハッキリあけて相手に向かって話す
- ・筆談や身振りや正確に伝える

重さの目安は 男性で15kg、女性で10kg程度です。

目の不自由な方のために

- ・声で情報伝達。手を引かない、杖を持った手には触れない
- ・相手にはじを持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く

高齢者・寝たきりの方のために

- ・緊急時はおぶって、複数で避難
- ・不安を取り除くように声をかける